

平成21年洞爺湖町教育委員会第7回臨時会会議録

日 時	平成21年12月17日(木) 13:32より
場 所	役場303会議会室
出席委員	委員長 蓮井 勇 委員長職務代理者 福島 浩二 委員 岩原 義美 委員 富山 隆介 教育長 真屋 敏春
欠席委員	委員 増山 和世
説明員	管理課長 遠藤 秀男 社会教育課長 木村 省平
会議録調整者	管理課学校教育係長 尾崎 文郎
傍聴者	無し
日程第1 【開会宣言】	蓮井委員長 開会を宣言する。(13:32)
日程第2 【前回会議録の承認】	蓮井委員長 各教育委員の署名により、承認を確認。
日程第3 【教育長諸般の報告】	真屋教育長 11月12日から本日までについて報告。 11/12 洞爺高校人事協議 11/13 洞爺湖温泉小学校公開研究会 11/14 小学生バレーボール大会 " 伊達地方防犯少年剣道大会 11/15 東京あぶた・とうや湖会 11/16 校長・教頭人事協議 " 中学生税の作文表彰式 11/18 保育料等改訂保護者説明会 11/19 行財政改革推進会議 " 保育料等改訂保護者説明会 11/20 保育料等改訂保護者説明会

- 11 / 25 第6回臨時町議会
- 11 / 27 定例教頭会
- 11 / 30 社会教育委員会
- ” 町政懇談会
- 12 / 2 町政懇談会
- 12 / 3 町政懇談会
- 12 / 4 町政懇談会
- 12 / 6 フロアーカーリング
- 12 / 7 町政懇談会
- 12 / 9 定例校長会
- ” 教育委員会行政評価委員会
- ” 町政懇談会
- 12 / 10 町政懇談会
- ” 社会文教常任委員会
- 12 / 14 教育局の機能と組織のあり方について
- 12 / 15 高校人事協議
- 12 / 16 定例教頭会
- ” 教育委員会行政評価委員会

蓮井委員長

諸般の報告について、質問等ございますか。

福島委員

町政懇談会で洞爺高校についてどの程度まで説明しましたか。

真屋教育長

これまで果たしてきた役割や経緯、そして建物や在籍生徒の状況について説明しました。

福島委員

以前、教育委員会で協議をした今後の方向性についての説明はしなかったのですね。

真屋教育長

今後、地域において説明会等を開催しますと話しました。

蓮井委員長

他に質問ありますか。

無ければ、諸般の報告については終わります。

次に日程第4の議案第11号に入ります。

日程第4

【議案事項】

- ・議案第11号
- ・議案第12号
- ・議案第13号

遠藤管理課長

本日の議案につきまして、議案第11号から議案第15号までは、保育料等の見直しに伴う条例規則の改正でございますので、合わせて説明させていた

- ・議案第14号
- ・議案第15号

だきたいのですがよろしいでしょうか。

蓮井委員長

よろしいでしょうか。

《異議無し》

異議がありませんので、合わせて説明して下さい。

遠藤管理課長

議案の他に、資料を用意しておりますので、これで全体の概要を説明させていただきます。

《資料により説明》

議案第11号は、へき地保育所の料金についての改正ですが、条例の提出権は町にありますので、これを依頼するものです。

議案第12号はへき地保育所、議案第13号は常設保育所の開所時間等を改正するものです。

議案第14号は常設保育所の保育料の改正で、議案第15号は心身障害児保育実施要綱の字句を整理するものです。

以上です。

蓮井委員長

保育所運営の見直しについては、以前協議しておりますのでご理解いただいていると思いますが、質問等がありましたらお受けいたします。

富山委員

通常保育時間という言葉無くなっており、開所時間と保育時間の取り扱いが解りにくいと思われませんが。

遠藤管理課長

保育時間は、年齢別に担任の保育士が付くもので、開所時間は全年齢を一緒に少人数の保育士で預かるというものです。

富山委員

通常時間というのは、保育時間と考えてよろしいのですね。

開所時間の設定に伴い、人件費が増えることが予想されますが、その辺の考えはいかがですか。

遠藤管理課長

前回は指摘されましたが、所長会を通じてうまくローテーションが組めるのかどうか検討していただいておりますが、やはりローテーションだけではまかないきれない部分。それから、ある程度の制約は持とうと思っておりますが、料金が掛からないということで、今以上に人数が増えることが考えられますので、多少の支出増はやむを得ないかなと考えております。平成22年度の予算要望をしておりますが、その部分に関して、人件費で100万円位要望しております。

蓮井委員長

開所時間中の事故等の対応については、どの様に考えておりますか。

遠藤管理課長

通常保育時間外の開所時間も、資格を持った保育士を配置したいと考えておりますので、その中でこれまでどおりの体制は取れるのかなと思っております。

蓮井委員長

保護者の便宜を図りながら、保育体制を整えていくことは大切なことですが、支出の増であるとか、危機管理のあり方については十分に考えていかなければならないと思います。保育時間外の開所時間であるので、責任は無いということにはならないので、ローテーションを組み合わせながら、その時間に働く保育士の方には、十分考慮していただかなければならない部分だと思います。

それから、国の基準の80%というのは根底にあったのですが、その至らない訳ですけど、財政部局はどのように判断していますか。

遠藤管理課長

財政の方とも、事前協議してはりましたが、いっぺんに上げるのは難しいのかなという意見をいただいております。

私どもとしても、80%ラインというのは、今回で終わりではありませんので、徐々ながらも進めて行きたいと考えております。

蓮井委員長

町政懇談会でもこの部分について、話しをされたと思いますが、出席された方の受け止め方はどうだったのですか。

遠藤管理課長

私は全て出席した訳ではありませんが、特に意見は無かったですし、出席した教育長からも、特に意見が無かったと聞いております。

18日から20日までの保護者への説明会の中でも、今回の保育料の見直しについては、高い安いといった話しはほとんどありませんでした。ただその考え方を少し変えて欲しかったという話しがありました。例えば、3階層については安くなりますが、バランスを取るのには解るが、見直しをするなら、全体で負担してもらおうという考えがあってもよかったのではないかと、という意見がありました。

蓮井委員長

本来であれば、国の基準の100%をいただきたいところですが、苦しい財政状況の中でも、子育て支援を実施しているということ、声を大きくして説明してもよろしいのではと思います。

真屋教育長

議会では、規模の大きい自治体だけでなく、小さい自治体も参考にできないのかという意見がありましたが、その辺は理解していただいております。

蓮井委員長

小さい自治体との比較というのは、これよりも安く設定しているところがあるということですか。

真屋教育長

豊浦町や壮瞥町などの料金体系を参考にできないのかという質問でした。

蓮井委員長

差はあるのでしょうか。

遠藤管理課長

豊浦町は安く設定されております。

蓮井委員長

極端に安いところに合わせるといふ訳にはいかないでしょうし、今回の改訂案で概ね納得を得られたと考えます。

福島委員

確認ですが、開所時間の利用料金は徴収しないということですね。

遠藤管理課長

料金は徴収しません。

福島委員

開所時間の利用については事前に調査を行いますか。

遠藤管理課長

開所時間の利用については、誰でも利用できるものではなく、それなりの理由がある方が利用することになりますので、調査等を行うことになります。

福島委員

改正案の中には、そのことが書いていないのに、調査等を行うことができるのですか。

遠藤管理課長

当初、保育の実施に関する条例施行規則の一部改正の第8条で、そのことを謳う予定でしたが、他の自治体の条文を調べたところ、開所時間に係る利用の制限を設けているところはありませんでした。ですから、その部分については、別に要綱を設けて運用を定めたいと考えております。

福島委員

通常保育時間という文言を残した方が、解りやすいと思いますが、この案を作成するに当たって、事務方としては問題なかったのでしょうか。

遠藤管理課長

通常保育という言葉を使うと、通常外の保育があるのかということにもなりますので、保育時間はこの時間と明確に示した方が良いのかなと考えました。開所時間については、ほとんどのところが運用として行っている状況で、周辺の市町では室蘭市のみが条例規則で謳っています。私どもとしては、開所時間というものを理解してもらうためには、明記する必要があるだろうということで、今回の改正案となりました。これだけ見ると解りづらいと思いますので、保護者の方にきちっと説明していきたいと思います。

富山委員

開所時間に付く保育士の数は、児童に対し何人とか決まっているのですか。

遠藤管理課長

まだ決まってはおりません。

富山委員

保育料の見直しによって収入は増となりますが、延長保育料が無料になることと、開所時間に係る人件費は増になると思われますが、その辺はどうなるでしょうか。

遠藤管理課長

保育料は、今年の収入に換算して約240万円から250万円の増となります。開所時間に係る人件費で予算要望している額が約100万円で、今までいただいていた延長保育料の120万円が無くなります。

トータルすると、増減はあまりないと思われます。

ただ、料金もさることながら、内容をここで一緒に見直せたということが良かったことで、前回も説明しましたが、土曜午後保育について、現在は入江保育所1カ所で試行しておりますが、いずれは全ての保育所で実施したいと考えております。その第1段階として、先ずは今回の改正を行っているものです。

蓮井委員長

土曜午後保育の要望はかなり多いですか。

遠藤管理課長

要望としては、平成19年度のアンケートでは約半分の保護者が利用したいとの回答でした。入江保育所で、毎週6・7人います。本町と温泉からも来ておりますが、大体合わせて13から14人位の利用があります。

蓮井委員長

今、週休2日ですが、保育士は通常勤務として出勤しているのですか。それとも臨時の保育士を頼んでいるのですか。

遠藤管理課長

当然、正規の職員も出ますし、臨時の保育士もサポートで多めにして、休める体制をつくっています。

ただ、昔から土曜日は午前中で終わりとしていますが、土曜日の午前保育を実施しているのは、豊浦町・壮瞥町と当町だけです。他は全て1日保育です。国の基準では、休日は別として保育時間は8時間を基本としなさいというのがあって、それを午前中の4時間までとすること自体おかしい話になりますが、財政的な部分や保育士の仕事の部分などで、なかなかそこに踏み切れていなかったのですが、平成21年度から入江保育所で試行しており、これについては継続して欲しいという保護者の方からの意見が多いので、他の保育所にも広げていきたいと考えております。

蓮井委員長

子供を預けているけれど、保育の内容まで知らない保護者の方もいますので、今回の改正により、理解を得るための素地を与えることができるので、その点では良かったのかなと思います。

ただ、先程の話にもありましたが、開所時間の運用については、条例・規則に明記されておりませんので、事故等の発生に備えるためにもきちっと規則等を整備する必要があると思います。

<p>議案第 1 6 号</p>	<p>他、特に質問等がなければ議案第 1 1 号から第 1 5 号まで、原案とおりとしてよろしいでしょうか。</p> <p>《異議無し》</p> <p>それでは、議案第 1 1 号から第 1 5 号までは、原案どおりとします。次に議案第 1 6 号に移ります。</p> <p>遠藤管理課長</p> <p>議案第 1 6 号、洞爺湖町教育委員会職員懲戒審査委員会設置規程の一部について、ご説明いたします。</p> <p>小中学校の先生というのは、任命権者は北海道教育委員会ですが服務監督者は町教育委員会です。懲戒処分に該当する場合には、町教育委員会が教育局へ申し立てすることになりますが、そこまでいかない軽微なもの(訓告以下)については、報告だけを受けて何もないというのが現状だったものですから、9月に教育局からその分について十分留意するようにと通達がございます。前回懲戒審査委員会で審査していただきましたけれど、その辺の規則の整理をするというものでございます。</p> <p>《議案により説明》</p> <p>以上でございます。</p> <p>蓮井委員長</p> <p>質問等ございましたらお願いします。</p> <p>《特に無し》</p> <p>道教委からの指示ということもある訳でございます。きちっとした対応をするために、このように進めて行くということで、よろしく申し上げます。次に議案第 1 7 号に移ります。</p>
<p>議案第 1 7 号</p>	<p>遠藤管理課長</p> <p>議案第 1 7 号、洞爺湖町教育委員会職員交通違反に係る処分基準の制定についてご説明いたします。</p> <p>《議案により説明》</p> <p>端的に言いますと、全ての事案で懲戒審査委員会を開かないで、軽微なものについては教育長の決裁で済ますというものです。町長部局の職員も同様の基準が今年度制定されましたので、それに合わせて教育委員会も定めるというものです。</p> <p>蓮井委員長</p> <p>質問等ございますか。</p> <p>無ければ、このようなことでよろしいでしょうか。</p> <p>《異議無し》</p> <p>議案第 1 7 号はどおりとなります。</p> <p>それではここで、若干休憩いたします。</p>

【 休 会 】	(1 4 : 5 2)
【 再 開 】	(1 5 : 0 0)
【 報 告 事 項 】	<p>蓮井委員長</p> <p>それでは再開いたします。</p> <p>日程第5に入る前に、社会教育課から報告事項があるということですので、報告後、協議事項に入ることによろしいでしょうか。</p> <p>《異議無し》</p> <p>報告をお願いします。</p> <p>木村社会教育課長</p> <p>史跡保存整備事業（高砂貝塚整備事業）の整備計画変更についてご報告いたします。</p> <p>《資料により説明》</p> <p>以上です。</p> <p>蓮井委員長</p> <p>民有地の買い上げが予定通りできなくなったということですね。</p> <p>木村社会教育課長</p> <p>はい、そういうことです。</p> <p>蓮井委員長</p> <p>それは民間で開発予定だったのですか。</p> <p>木村社会教育課長</p> <p>今回追加指定しようとしているところは、個人所有なのですが、その方が開発を進めようかなということで、その場所は以前の調査で遺物が多く出まして、本人が開発する分に良いのですが、開発するためには個人が発掘調査しなければならず、個人に相当の負担が掛かるため、町で買い上げて進めようと考えていました。</p> <p>蓮井委員長</p> <p>時間のない中ですが、慎重に掛かって、後々に憂いのないようにしていただきたいと思います。</p> <p>この件はよろしいでしょうか。</p> <p>《異議無し》</p> <p>次に日程第5、学校訪問結果に移ります。</p>
日 程 第 5	
【 協 議 事 項 】 ・協議第4号	<p>遠藤管理課長</p> <p>10月21日・28日・11月15日と3回に分けて町内の各学校を訪問していただきました。その最終的な訪問結果をご協議していただきたいと思います。その参考資料といたしまして、報告というかたちで作成しましたので、これを見ていただきながらまとめをしていただけたらなと思いますのでよろ</p>

しくお願いいたします。

蓮井委員長

今年度は、昨年度と違って全部の学校を回りましょうということで、委員の皆さんには日程上の忙しさや負担をお掛けしたと思いますが、やはり毎年全校を訪問することは継続したいと思っています。

それから、今回は特に学力調査の結果を受けて、学校がどのように改善策を講じてきたかを、きちっと見届けようというのが大きなポイントでありました。その他に学校経営状況や生徒指導の状況、あるいは特色ある教育活動、地域との連携などを見届けることができればよろしいかなと思っておりました。

どの学校と限りませんのでお願いします。

真屋教育長

皆さんも見てお解かりだったかなと思いますが、校長の裁量、指導によって学校が大分変わるという部分があるのですが、それぞれの学校が特色を出しながら頑張っていたかという部分はあるかな。ただ学力調査等々においては、その年に対象となる生徒の波に浮き沈みがあるという中で、一概にそのものがどうなのかなという部分があるのですが、それなりに学校改善に向けて取り組んでいただいているかなという部分はあると思います。それと、町独自のいわゆる1年生から6年生の一貫したテストを3年間続けたいというふうに思っております。これを、各学年ごとに一応分析をして、それが延いては中学校の方に引き継がれるようなかたちを、なんとか取っていきなというふうにも思っております。特に小学校ではないのですが、洞爺高校でいわゆる14人の先生が一体となって指導していただいておりますが、非常に、生徒とマンツーマンで教育がなされているかな。更には校長先生の指導力によって、教職員が、ややもすると授業している時に居眠りをしている生徒もいると、その部分を教師がこぼす時に、校長がその教師に向って、居眠りをさせないような教育をして欲しいということで、何か訴えている姿を私も見たこともありまして、やはり指導者の考え方で違ってきているのかな。たまたまその教員は、居眠りをしている子ではないのですが、洋裁をやっていた時にお話を聞きましたが、A班B班、いわゆる1つのクラスの中でも、優秀な子とちょっと落ちる子を色分けして授業を展開していると。その中で、更にちょっとついて来られないという子が居て、その子を留年させるかという話しが出ておったようですが、校長とその担任の先生が話している中で、それは子供せいではなく、子供は一生懸命覚えようという姿勢はあるのだから、先生がもう少し長い目で、きちっとその子と向き合って、もう一度教育をして欲しいということで、できることであれば、その子を留年させないでそのまま引き続ききちっと指導して欲しいと、何かそういうことも言っておられたことも耳にいたしまして、ある意味で一生懸命に取り組んでいただいているのだなと感じました。

蓮井委員長

各学校それぞれ努力されていて、また、改善点を明らかにして欲しいということについては、それぞれこういうふうにして行こうということが書かれていて、大変良かったなと思っています。

ただ、それで十分なのか、あるいはそれしかできないのか、というふうになってきますと、ある学校では、学校長の指導力の元に、学校体制として、こういうようにしていこうというのがきちっと見えている学校と、それから、そうではなくて、確かに改善点は示されているのですが、学年によってばらばらの学校が多い。それは又、やむを得ない部分があるのです。学年学年によって、算数のAは良かったけれどBが悪かったとか、国語のAは良かったけれどBが悪かったというように、色々な分析結果が出てきますから、対応の仕方は多用でなければならぬのですけれど、基本的に、学校全体の傾向から見て、こういう部分が足りないからこういうようにしていこう。例えば、学校名をあげてしまいますと、洞爺中学校のように45分授業を昨年実施し、今年は60分授業を実施したというように、学校体制としてきちっと取り組んでいる学校と、極端にいうと来年3月まではこうするよという、来年のテストに向けたものしか出てない学校もあるのですね。これはある意味で、そういう学校も全道的にはあるのですけれど、やはり中長期的に学校の改善点を示して、特に先生方がきちっと取り組めるようにしていくというのは大事なのだなと、そういう意味ではもう少し考えていかなければならない部分があるのではないかと。例えば、8月の末に学力調査の結果が出されました時に、新聞記事にこのようなものが載っておりました。基礎学力の底上げが課題とされたが、改善した様子は見えないということが、書かれている。尚且つその記事の中に、学力向上の目標や、課題を明確にする教員が少なく、校長や教頭もその様な学校運営をしていない、道教委に努力が足りないと書かれています。これは、私はかなり当たっているという感じがしてならない部分があります。というのは温泉小学校でも研究授業を見せてもらいましたし、他の学校も色々見せてもらいましたけれど、熱心に指導されているのですけれど、もう一つ、どうしてこういうふうに進まないのかなと思う部分があって、これはもう一回先生方が校内研修の中で考えてもらう。しかし、井の中の蛙になってしまっていないのかな、というふうな部分も感じる学校が多くて、これらに対して、行政としての協力援助はどうあれば良いのか感じさせられてしまった部分があります。そんなことを感じさせられました。

他、ご意見等ありますか。

岩原委員

特に温泉小学校は雰囲気が変わったかなと感じました。それから委員長からありましたが、洞爺中学校の指導の取り組み方がちょっと特異で、それなりの成果が上がっていると感じております。

残念だったのは、虻田中学校でしたか数学の授業を見せていただいたのですが、基礎基本とどこの学校も言われているのですけれど、あそこまで座標を全部書いて指導するのはどうなのかな。どこか1点書いて次にどこに移る

のかというような指導が、まだ十分先生も捉えられていないなというような感じがしました。

もう1つ虻田中学校なのですが、電気関係の授業でしたが、あまり得意ではないように見えました。

得意不得意があったとしても、その単元単元でそれぞれの先生が努力しなければならないのかな。そういったことが学力調査への結果に反映されているのかなと感じました。

それから、3地区（本町・温泉・洞爺）にそれぞれ小中学校が1校ずつありますので、それぞれ十分に連携を強化して欲しいと感じました。

洞爺高校については、そこそこ優秀な生徒もいる中で、学力だけでなく手先の器用さという意味で、かなり落ちている生徒も来ていて、先生もかなり根気良く指導されているなという印象を受けました。以上です。

蓮井委員長

今、岩原委員さんから授業の在り様について指摘がありました。先生方が授業指導力を上げていかなければ、学校というのは教科指導と生徒指導が絶対の両輪で、中でも教科指導は父兄の期待も大きい部分でもある訳ですから、先程言ったように、先生が全部グラフを書いてしまうのではなく、生徒に書かせて、違うところがあったらお互いに意見を出し合って良いものを作り出していく。そういう授業でお互いが良いものを目指していく。そこで完成した時に、成就感や満足感を持った授業ができるというのは、絶対条件だろうなと思います。その中で、虻田中学校では、数学と英語だけは少人数で分けてやるというのがありました。それも1つの良い取組みだなと思っているところでありまして、少しずつそういう芽が、虻田中学校や洞爺中学校に出てきて、先程新聞には先生の意識が足りないなどと書かれてありましたけれど、管理職がそういうことをやっていこうじゃないかと提案することで、先生方の中にもそういう意識が芽生えてくれば、学校全体が良い方向に変わっていくてくれるではなかと思っております、そういうことについては、我々教育委員会も援助協力という姿勢をどう見せていくかということを考えながら、実際に行動しながら進めていかなければならないと思っております。

富山委員

全体的なことになりますけれど、それぞれの悩みの部分で頑張っている様子が伺えたのですが、全国学力調査の結果では北海道は全国的にレベルが低く、その中でもそこを下回るような状況で、何か根本的なところが違うのかなと、それが何かと言われると解らないのですが、努力している部分がなかなか報われてこないということで、何か大きなところが間違っているではないかなという気がとてもしました。

いっぺんに上げるとまでは求めていないのですけれど、せめて北海道の平均もしくはそこを少し超えられるまでのものと、学力に関してはそんなふう感じました。

勉強だけではないのですが、その辺のところを非常に感じた次第です。

福島委員

以前虻高を訪問した時に、九九を教えていると言われました。虻中で同じ様な話を聞きました。

学校を卒業しても、字が読めず自動車免許を取れないような子供がいては、とても寂しい思いがします。

我々の時代と違い、1クラスの生徒数は少ないので、先生はしっかり見て欲しい。当たり外れのある先生では困りますので、先生のレベルを上げるべきと思いますし、必要な学年で必要なものをしっかり教えていただきたい

学力テストの結果向上も大事ですが、平均値を上げるといことも、個々の子供には必要なのかなと思っています。

後、洞爺中については感動しました。すばらしい校長先生と若い教頭先生のスクラムで、生徒を良い方向へ引っ張っていってくれると思いますし、管理職がしっかりしていると、下にも良い影響があります。

それと校舎の雰囲気というのが、丁度良い住み心地というように感じました。

それから、褒めるより、良い怒り方をする方が大切だと最近感じております。そういった経験がなく育った子供は、社会に出たときに大変な目に遭ってしまいます。

教育長は、我々より校長と会う機会が多いので、その辺のところをしっかりと伝えていただきたいと思います。以上です。

蓮井委員長

我々は、全員栄高校に行くだけの学力をつけて欲しいと思っている訳ではないので、今言いましたように、中学校に入っても、九九ができないとか繰り下がりの引き算ができないという子がいたら、中学校の勉強をする前にそのことから始めなければならなくなります。その学年で必要な学力をつけなければ社会に出た時大変な思いをすることになってしまいます。

今の先生は、答えを出すための様々な方法を認めています、より効率的で最適な方法があるはずで、少し前までは、各方法の内容を討論して最適な方法を見つけ出していく1時間の授業がありました。では、なぜ様々な方法を認めるようになったかという、人の心を傷つけないということ言うのです。これでは、子供にとっては十分な満足を得られない授業になっています。どこの学校にも研修があって、指導案というものを書くのですけれど、そうになっています。1時間の授業の中に厳しさが無く、先生方も厳しくやり合うということ避けて通っています。良い競り合いや、もみ合いと言いましょうか、そういう中で授業を進めて行くようであればなりません。7つの学校を回って見て、どこの学校でもやや感じました。その部分について我々はどういうふうになれば良いかを考えなければならないと思います。

それから、全国学力調査が3年目も終わり、町独自の学力調査も2回目に入りますけれど、そろそろ私どもも、その結果で学校に改善策だけを求めるのではなく、私達行政が、何をお手伝いでき、何に協力できるのかというこ

とも、少し考えていかなければならない時期が来たのではないかなと思っています。

例えば、虻田小学校で虻田中学校の方式のように算数などの授業で、少人数での授業を行うという手も、あるいはあるのかもしれない。それを行うために教員の数が足りないということであれば、財政が厳しい中ですが、補助指導員のようなものを何とか確保するというのも、行政の1つの在り様なのかなと思います。それから、学校との相談ですけれど、指導主事の訪問をもっと受けてもいいのではないのでしょうか。授業だけでなく、学校教育計画や教育課程というものがありますが、その作成や編制のときに、指導主事の先生方に、指導助言をいただくということもあっていいのではないかなと思います。その編制時には、当然、学力調査の結果や分析を十分に織り込んで進めなければなりません。それから、教育委員会の中に、非常勤でも良いのでアドバイザーのような立場の人を配置して、各学校を頻りに回ってもらい、先生方の相談相手になったり、指導してもらおうというのはどうかと考えます。当然、財源的な裏づけがなければできませんが、そろそろ私達もそういう意味で学校と協力体制を組まなければならない時期が来ているのかなと思います。そういったことの方が、当町の教育課題はいくつかありますけれど、こういうことが直近の課題と思っています。洞爺高校に掛かるお金を、こういったことに掛ける方が、納税者である町民の負託に答えることになるのかなと思ったりします。

後、何かございます。

福島委員

洞爺高校は、何らかの問題を抱えている生徒がほとんどということで、今後の方向付けを行う中で、廃校ということになるとは思いますが、こういった生徒に対し、廃校になったので後は知らないよということではなく、こういった生徒がいるということを、道教委に強く訴えていく必要があると思います。

蓮井委員長

洞爺高校は、駄目な学校ということではなく、必要な学校ではありますが、現状を考えると、止むに止まれぬ選択を考えていかざるを得ないのではないのでしょうか。

学校訪問の結果ということで、大雑把な話しになってしまいましたが、教育長さんの方で、取捨選択して各学校へお伝えいただければありがたいと思います。また、来年もお忙しいでしょうけれども、全部の学校を回って、我々も勉強しなければなりませんし、学校への提言するものは提言するという形で、本町の教育のレベルアップを進めてまいりたいなと思っています。

この辺でよろしいでしょうか。

《特に意見無し》

2学期がそろそろ終わる訳ですけれど、町内小・中・高校で、我々が検討しなければならぬ問題点や生徒指導上の問題点など報告がありましたでし

ようか。

遠藤管理課長

各学校から問題点ということで報告はありませんが、特に虻田地区のインフルエンザが多くなっていて、先々週から虻田中学校・虻田小学校と続いております。又、今まで保育所では無かったのですが、今日から入江保育所の4歳児を休みにしております。今後、他の保育所にも影響があると考えられますので、その辺の体制をしっかりとしていきたいなと思っております。

蓮井委員長

冬休みに登校日を設ける学校はありますか。

遠藤管理課長

虻田中学校は2年生だけ、終業式の午後と、次の日とその次の日の2日間登校日となっております。

蓮井委員長

私の方からあるのですが、各学校の学習発表会や学芸会はそれぞれ頑張っていて、良くやっているなと思ったのですが、出し物の中で考えていかなければならないものがありました。これはまだ外に向けて言うようなことではないのですが、皆さんに知っていただきたいということで、お話しします。

虻田小学校6年生の劇の中で、思想的に偏向教育と考えられるものがありました。しかもステージの上で、人を刺し殺したり撃ち殺したりする場面がありました。日本が中国に対して侵略し、その住民を殺戮したという場面を、ステージで演じさせていました。3日位前に、テレビで西胆振6つの小学校の取り組み状況が放送され、当町では温泉小学校が出ていました。温泉小学校は温泉らしく、ボートで中島まで頑張って漕ぐとか、木の種を撒いて大きくしていくとか、去年のサミット以来の環境教育の表れの1つと、湖をテーマにした課外活動の発表があつて、1番良かったなと思いました。後のところは学習発表会の様子等でしたが、ある学校では平和教育ということで、戦争を教材として行ったということでした。最近ちょっとそういう傾向が、学校に増えつつある。劇を見た後、校長室に寄り、あの劇は再考を要するねと、あまり厳しくない範囲で意見をさせていただきました。

私達も、アンテナを高くして、見聞きしていかなければならいかなと感じました。あえて声高に話して刺激する必要はありませんけれど、そんなことがあつたということ知っておいていただければありがたいなと思います。天皇陛下即位20周年の日に、国旗を掲げるというのが文科省から指示通達があつて、これについては、町内各学校もなされていたと受け止めておりますけれど、一部の他町村では、国旗を揚げなかった学校もあるということも聞いておりますので、そんなことが卒業式や入学式に何か影を落とすのかなと、そんなことも懸念されなくはないなという思いがしてありまして、少し知っておく必要があるのかなと思っております。

後、各委員さん方で地域の皆さんから社会教育も含めて何か情報がございましたらこの場を出していただけたらありがたいと思います。

真屋教育長

先程福島委員さんからありましたが、洞爺高校については、国や道に意見を申していきたいなと思っております。その代替のものが、当町にできるのか道にできるのか、財政状況を見ると厳しい面がありますが、言っていけないと道が開けませんので、話していこうかなと思っております。

住民への説明については、来週から議会が始まりますので、少し時間を置かしていただきたいと思っております。幸いなことに今回の議会では、教育委員会については一般質問が出ておりません。ただ、抜け出す訳にはいきませんので、年内は難しいので、年が明けてから地域の方とご相談をして、日程を定めていきたいなと思っております。

それで、結論ありきということではなくて、地域のご意見を伺いながらと考えておりますが、中には中高一環教育ですとか、小学校を統廃合して空いた学校を使用するなどの意見がありますが、現状をでは、学校間の距離や町財政を考えると、実現は非常な困難です。ただ、校舎の老朽化や、大規模な改築も厳しい状況であると、住民の方に説明して理解を得たいと考えております。

蓮井委員長

後、話しは別になりますけれど、先程、中高一貫教育の話がありました。当町には各地区にそれぞれ小・中学校がありまして、町教研の今年度の会長である洞爺中学校の及川校長先生が、小中連携というかたちでの、町教研のあり方を考えて提案していくということで、少し変化が見られて、小中連携というような教育が促進されて、そのことによって先程言っていたように、小学校でどういう力をつけていくべきなのかというようなことが検討されて、本町の義務教育学校も内容が、充実することに繋がるのではないのかなと思っております。

もう1つは、これは新聞に出ておりましたので、皆様ご存知だと思いますが、全国学力調査の件でございますけれど、抽出40%という話が出てきておりましたが、40%というのが揺れ動いております。これは事業仕分けでスーパーコンピューター開発が中止になりかけたのですが、強い反対意見があって、なんとか予算付けしてもらおうと、文科省が動きました。しかし、それは認めるけれども、他の事業を削らなくてはならなくなり、このパーセントが20%位になるかもしれません。そうすると結果の経年比較ができなくなってしまいます。当町では、実施するように手を挙げたということで大変ありがたいなと思っております。当町も財政的に非常に苦しいということで、独自で行っている学力テストが、全員に実施できなくなってしまうと、これも経年比較ができなくなり、これは一大事だなと思っておりますが、先程教育長さんが3年間実施するということおっしゃっていただきましたので、大変ありがたいと思っております。

子供たちにしっかりした基礎学力を付けさせていくことが、私達が町民の負託に対する筋道だろうなと思っております。

それから、先程の学校訪問の時に話すべきだったのですが、立派なパソコンが置かれているのですが、あまり使われている形跡がなくて、どういうふうになっているのかお聞きしようと思ってしないでしまったのですが、費用対効果などという、教育には馴染まないのかもしれませんが、それなりに活用していただくということは、あって然るべきではないか。なぜそのようなことを言うかという、今、電子黒板をつけるとさかんに騒いでいますけれど、あんなに大騒ぎをして導入したコンピューターでさえ、埃をかぶっているのに、電子黒板をどうのように使うのかという重要な検討もないままに入れてしまったら、恐らく又、2年か3年たったら埃をかぶってしまうのではないのでしょうか。先生方というのは、どうも、黒板とチョークと教科書があれば大丈夫というようになってしまわないのかなと思っていて、その辺りも、校長会で少し刺激を与えていただければありがたいかなと思っていますところでは。

他、何かございませんでしょうか。

福島委員

先程、社会教育から報告がありましたが、議案に載っていないことですので、管理課と社会教育課と連携を取っていただきたいと思います。また、社会教育課も色々と報告事項があると思います。教育委員会は学校教育だけではありませんので、事業の内容等を報告してもらいたいと思います。

蓮井委員長

四半期ごとでも結構ですので、報告いただけたらありがたいと思います。その辺もよろしく願いいたします。

日 程 第 5
【 閉 会 】

後、特になければ、本日の教育委員会議を終了いたします。(1 6 : 1 8)